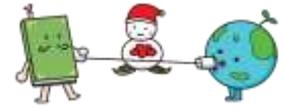


がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

<べんきょうすること>

◆「くちばし」（きょうかしよ 52～59 ページ）をがくしゅうします。

(1) 52 ページをよみます。つぎに、52 ページの3まいのえをみましょう。
それぞれどんなかたちのくちばしをしているか、かんがえてみましょう。
（おうちのひとに、かんがえたことをはなしてもいいです。）

(2) 53 ページと 54 ページをこえにだして、よみます。
よんだあとに、つぎのくいずにこたえましょう。

- ① **かたちくいず**…どんなかたちのくちばしですか。
- ② **なまえくいず**…なんのくちばしでしょうか。
- ③ **つかいかたくいず**…くちばしを、どうやってつかいますか。
- ④ **たべものくいず**…なにを、たべますか。



(3) くいずのこたえを、のーとやとりくみしーとにかきましょう。
※きょうかしよのぶんやことばをかきうつしてみましょう。

(4) 55 ページと 56 ページをこえにだしてよみます。
よんだあとに、つぎのくいずにこたえましょう。

- ① **かたちくいず**…どんなかたちのくちばしですか。
- ② **なまえくいず**…なんのくちばしでしょうか。
- ③ **つかいかたくいず**…くちばしを、どうやってつかいますか。
- ④ **たべものくいず**…なにを、たべますか。



(5) くいずのこたえを、のーとやとりくみしーとにかきましょう。
※きょうかしよのぶんやことばをかきうつしてみましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ◆「くちばし」は説明的文章です。この学習では、教科書の文章を読んで、クイズに答えるという学習を通して、「問い」と「答え」の形式を学びます。
- ・「どんなかたちのくちばしですか。」など、クイズを出してあげると、楽しく教科書の文章から答えを探して読むことができます。

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<べんきょうすること>

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 51 ページ）

ボールをかごにいれるゲームをしました。
あわせると いくつに なるかな？

(1) 1かいめに3こはいりました。



※わくのなかに ブロックをおきます。

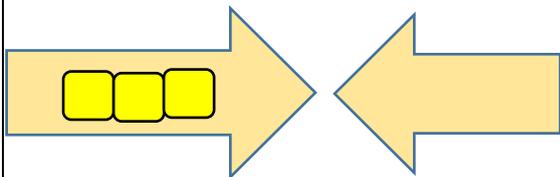
(2) 2かいめに、はいつたかずは 0こでした。



(3) しきにあらわしてみよう。

しき + =

こたえ こ



3こと 0こを あわせると、
こに なります。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P51）

- ・今回も、お話に合わせてブロックを動かしたり、絵から式をに表したりしながら、たし算の意味をとらえていきます。「0」という数は、足しても数が変わらないため簡単に捉えがちですが、子どもが意味を理解するのはなかなか難しいです。
- ・教科書 52 ページの問題で、計算の習熟を図ることもできます。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとく組みましょう。

<べんきょうすること>

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわとび」にとりくみましょう。

ひとつずつくりあしていくと、2じゅうとびができるようになりますよ。

○まえとびのやりかた

○リズムのれんしゅう



こつは、わきをしめて手くびをはやくまわすことです。わきに本をはさんでいるつもりでとびましょう。また、つまさきでちゃくちすると、じょうずにとぶことができます。30びょうで70かいくらいとべるようになると、2じゅうとびができるようになるといわれています。

なわをもたずに、2じゅうとびのリズムをおぼえます。とんだときに、むねのまえで手を2かいたたいたり、ふとももを2かいたたいたりします。

○なわまわし

○「2じゅうとび→まえとび」のくりかえし



なわをはやくまわすためには、手くびのうごかしがたいせつになります。かたてずつ、さゆうりょうほうやってみよう。

2じゅうとびと、まえとびをくみあわせます。さいしょは2じゅうとびをするときに、ひぎをまげてたかくとびましょう。つぎに、まえとびを3→2→1かいとへらしていきます。できたら、れんぞく2じゅうとびにちょうせんしてみよう。

◆れんぞくでなんかいとべたかや、30びょうでなんかいとべたかをかぞえてみよう。

※よゆうがあれば、まえにしょうかいしたとびかたなどにもちょうせんしてみましよう。くりかえしとりくめると、じょうずになりますよ。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。